

第14回通常総会の開催

と き 平成22年2月15日（月）

ところ 白兔会館「らいちょうの間」

第14回通常総会を、正会員121名のうち99名（出席36名、委任状63名）の参加を得て開催しました。

小谷茂理事長の挨拶に続いて、平成21年度に「緑の募金」への高額寄附をいただいた三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社様、株式会社イブキ様の2社に理事長から感謝状を贈呈しました。続いて、来賓の藤井喜臣副知事から祝辞をいただきました。

総会は、議長に智頭町森林組合長澤米由己氏を選出し、議事録署名人に団体会員の白岩保山林樹苗協同組合専務理事、個人会員の山本紀彦氏を選任した後、第1号議案「平成21年度事業報告及び収支決算について」、第2号議案「平成22年度事業計画（案）及び収支予算（案）について」、第3号議案「要綱の一部変更に係る委任について」審議され、いずれも提案どおり可決承認されました。また、第4号議案「会員の入会について」が報告されました。続いて「その他」で活動強化積立金特別会計の取扱について協議し、平成25年度に鳥取県で開催予定の「全国植樹祭」等に有効に活用していくことで会員の皆様の承認を得ました。

今後とも、外部有識者等の意見をお聞きしながら、一層効率的、かつ適正な事業の実施に努めて参りますので、皆様方の温かいご理解・ご協力をお願いします。



小谷茂理事長のあいさつ



議 事

役 員 の 皆 さ ん

（平成22年8月3日現在）

理 事 長	小 谷 茂	県議会議長	理 事	横 濱 純一	県教育委員会教育長
副理事長	鹿 田 道夫	県農林水産部長	理 事	藤 原 正	県建設業協会会長
理 事	景 山 一夫	県漁業協同組合代表理事組合長	理 事	藤 原 眞澄	県山林樹苗協同組合理事長
理 事	田 中 朝子	県連合婦人会会長	理 事	入 澤 宏	県森林組合連合会会長
理 事	竹 内 功	県市長会会長	理 事	吉 岡 利固	（株）新日本海新聞社代表取締役社主
理 事	吉 田 秀光	県町村会会長	監 事	門 脇 敏夫	県造園建設業協会会長
理 事	坂 根 國之	県農業協同組合中央会会長	監 事	大 家 繁博	県椎茸生産組合連合会会長

（任期：平成23年2月20日）

■平成22年度 緑の募金運動

募金運動期間

春期 平成22年3月25日(木)～5月31日(月)

秋期 平成22年9月1日(水)～10月31日(日)

国土緑化運動標語

“小さな芽 届け未来へ 緑の力”



緑の募金は、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」により実施されています。

森林の整備や緑化活動を支援し、きれいな水、きれいな空気、そして地球温暖化の防止、災害の防止など、環境改善に役立っています。

森や緑を育て、安全で住みよい故郷をつくるため、地域や学校のみどりを増やし、森林ボランティア、みどりの少年団の育成などにも役立っています。

一人でも多くの皆様の温かいご協力をお願いします。

緑の募金街頭キャンペーン

緑の募金運動を盛り上げるため、運動初日の3月25日(木)には、ジャスコ日吉津店では、小谷茂理事長をはじめ、橋井満義日吉津村議会議員、宮本京子西部総合事務所農林局長、米子ロータリークラブ会員の皆様、成実小学校みどりの少年団の皆様等々、またジャスコ鳥取北店では、鹿田道夫副理事長、林由紀子鳥取市支部長、嶋沢和幸県森林・林業総室長、井口近志東部総合事務所農林局副局長、藤田充賀露おやじの会理事長、賀露小学校みどりの少年団の皆様等々、多くの方々のご協力により、緑の募金街頭キャンペーンを行い、買い物客の皆様に募金への協力を呼びかけいただきました。

その他、山郷小学校みどりの少年団、北谷小学校みどりの少年団、倉吉農業高等学校、倉吉北高等学校、倉吉市、米子市のボーイスカウト、ガールスカウトの皆さんなどが、それぞれの地域で街頭募金活動を実施されました。



平成22年度春期募金の結果

平成22年度春期募金の結果は、街頭募金526,235円、学校募金1,238,180円、家庭募金16,203,909円、企業募金372,745円、職場募金2,949,451円、その他1,106,495円、計22,397,015円となり、トータルで昨年対比104%の実績を挙げることができました。ご協力いただいた県民の皆様には厚く御礼申し上げます。

緑の募金贈呈式

6月3日、県会議長室で「緑の募金贈呈式」が行われました。千代三洋工業株式会社様より、会社で取組まれた「緑の募金」の浄財を、ご寄付いただきました。ありがとうございました。

また、三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社様は、毎年社内で「緑の募金」活動を実施され、多額のご寄付を頂いていますが、今年度も5月13日、麻木哲夫総務課長様より県庁森林・林業総室内の緑化推進委員会事務局までご持参頂き、贈呈を受けました。ありがとうございました。

また、株式会社ファイナル様には、5月27日、坂口総務部長様より同事務局までご持参頂き、贈呈を受けました。御社では、ご自分の会社での紙の使用量を標準的な杉の成木1本に換算して何本の杉の苗木を植えれば良いか計算され、杉苗木の購入代を「緑の募金」としてご寄附されたものです。ありがとうございました。



社員代表の山田雅巳様より理事長へ
(奥側) 西尾孝博社長様



理事長より麻木哲夫総務課長様へ
感謝状贈呈 (第14回通常総会にて)



坂口総務部長様より事務局長へ



皆様から「緑の募金」としてご寄付いただいた大切な浄財は、緑の募金の趣旨に則り、私たちの周りの緑環境の改善等有効に活用させていただきます。
ありがとうございました。

■学校環境緑化モデル事業完成式

ローソン緑の募金を活用して 子どもたちに環境教育と憩いの場が完成しました。

7月5日、鳥取市立鹿野小学校、同21日、鳥取市立明德小学校で、それぞれ学校環境緑化モデル事業完成式が行われました。



鹿野小学校



明德小学校

学校環境緑化モデル事業とは、(社)国土緑化推進機構の「緑と水の森林基金」のうち、「ローソン緑の募金」を財源として活用した助成事業で、各県の緑化推進委員会を通じて全国50の小学校に助成がなされるものです。

平成21年度（22年度完成）は県内で両校が助成決定を受け事業に取り組んでいましたが、このほど両校とも事業が完成し、全校児童、学校関係者、父兄代表、ローソン関係者等が出席し、それぞれ完成式がとり行われました。

鹿野小学校では、高さ3メートルほどのフジ棚に2本のフジを植え、ビオトープの近くに給水ポンプを設置。明德小学校では、校舎周辺へのアジサイ、ミカンなどの植樹、ビオトープの土の入れ替え等を実施。両校とも緑の環境が整ったことで、児童生徒への良い影響が期待されます。



鹿野小学校



明德小学校

■森林づくりの促進事業

～森と水の環境改善へ向けて～

鳥取県中央青壮年部

部長 居川 春美

鳥取中央青壮年部は賀露から泊までの、各地区の漁業者が部員となり、漁業協同組合運動の実践活動を通じて組合と協力し、地区の活性化や地区内漁業の発展のため活動してきました。

近年では水産資源の減少や漁場環境の悪化等、漁業を取り巻く状況も悪くなっています。そのためには、その水源となる場所の自然環境保全を良くし、豊かな漁場づくりの環境を整えることが必要ではないかと考えています。

そのことから、今回5月30日に鳥取市鹿野町佐谷峠・河内川源流域近くに、クヌギの苗を300本、参加者がくわを使い、ひとつひとつ植えていきました。また心配されていた雨も降らず、合わせて周辺の清掃活動もすることができました。

この環境整備が、豊かな漁場づくりのための一助になり、それがいずれ県東部地域の水産資源の確保につながってゆくのではないかと思います。

また、平成23年秋には鳥取県で「全国豊かな海づくり大会」が開催されます。今回の事業が大会へ向けての一役になればと思っています。

そして今回の植樹には、わたしたち鳥取県中央青壮年部員を始め、鳥取市議会、鳥取県・鳥取市の職員、「全国豊かな海づくり大会」推進室の方々に加え、酒津の地域住民やボランティアなど、計70名あまりの多数のご参加をいただきました。また講師役として鳥取県東部森林組合の方を迎え、ご指導を承りました。参加者の方々をはじめ、数々のご協力のもと無事終了できましたことを感謝いたします。

今回の取り組みを通じて、そこに住む地域の方々が、目に映る環境をどう感じ、どう見ているのかということが大切だと感じました。自分たちの住む環境に関心ではなく、少しでも関心を持ち、愛着心を持ってほしいと思います。今回の取り組みのように、海の恵みを受けているわたしたち漁業者の手で、漁場環境のために活動することは、今まで漁場環境に対してあまり関心の無かった地域住民の方々にも、意識を持ってもらう機会となってくれると思います。

これからもわたしたち鳥取県中央青壮年部は、漁場環境の整備をはじめ、自分たちが出来る取り組みを、ひとつひとつ行っていきたいと思っています。



■第56回鳥取県植樹祭の開催

第56回鳥取県植樹祭が、4月29日（木）鳥取県、大山町、米子市及び本委員会の主催により、西伯郡大山町「県立むきばんだ史跡公園」において、「弥生の里から未来の里へ みんなでつなぐ緑のバトン」をテーマに開催されました。



式典の始まるまでの間、大山小学校みどりの少年団23名の皆さんと本委員会小谷理事長による緑の募金運動が実施されました。

また、平成23年度開催の「全国豊かな海づくり大会」のマスコットキャラクター「ととリン」も応援にかけつけてくれ、大いに盛り上がりました。

式典では最初にオープニングアトラクションとして大山西小学校33名の皆さんによる創作ダンス「大山からす天狗伝説」が披露され、参加者から盛大な拍手が送られました。

開会宣言の後、みどりの少年団の皆さんの元気な入場行進と紹介、主催者挨拶、来賓紹介、来賓挨拶に続いて、緑化功労者の鳥取市神戸小学校並びに故荒松廣志さん（代理荒松将志さん）、植樹祭テーマ募集最優秀賞の矢畑哲也さん（米子市）、同じく優秀賞の富田夏江さん（米子高等学校）の表彰が行われ、続いて、「森林・みどりへの想い」として、淀江小学校6年生の高嶋彩都さんと鶴田理子さんの2人による発表、むきばんだを歩く会の滝沢秀明さんの発表が行われました。

つぎに、島根大学川口准教授により「むきばんだ弥生の森の解説」が行われた後、来賓、主催者12名による代表植樹が実施され、続いて参加者全員が植樹会場に移動してスダジイやタブノキなど約1,000本の苗木の植栽が行われました。



昼食時には、アトラクションとして桂木龍ミニコンサートが実施され、多くの参加者が食事をしながら聞き入っていました。大山おこわ等の昼食や地元特産品の販売が行われ、多くの人で賑わいました。



（社）鳥取県緑化推進委員会では、参加記念品としてナツツバキとサツキの苗木600本を無料配布し、好評を得ました。

また、むきばんだ史跡公園では、「古代体験」「木の伐採・加工」「むきばんだの森を散策しよう、遺跡案内」などが行われました。

■自動販売機で緑の募金

～ダイドードリンコ株式会社～

県植樹祭において、ダイドードリンコ株式会社様による「緑の募金自動販売機」が設置されました。これは、売上金の一部が緑の募金として寄付される、というものです。



御社は、「ジュースやミネラルウォーターなどの飲料は、森林から供給されたきれいな水で作られます。また、自動販売機の電力はCO₂を排出して作られます。CO₂を吸収し、きれいな水を供給する森林に、少しでもお返しをしたい。」という理念の下、地球環境を救う森林づくりへの取り組みに積極的に貢献しておられます。

「ダイドードリンコは今後も、単に設置するだけでなく、自動販売機を通して様々な活動を行うことで、企業としての社会的責任を果たしながら設置台数を確保していきたい。」とも言っておられます。

是非、多くの皆様に知っていただき、ご協力をお願いするとともに、設置を検討していただけたところがありましたら、当委員会まで申し出ていただけるとありがたいと思います。

「緑の募金自販機設置」にご協力を
どうぞよろしくお願いいたします。



■第61回全国植樹祭が神奈川県で開催される

第61回全国植樹祭が平成22年5月23日（日）神奈川県南足柄市・足柄森林公園丸太の森地区と秦野市・県立秦野戸川公園地区を会場に、「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を大会テーマとして、約8,300人が参加して盛大に開催されました。

当日は、あいにくの雨の中、天皇・皇后両陛下が無花粉スギやヤマザクラなど6種の苗木をお手植えされ、秦野会場ではブナ、コブシなど4種類の種をお手播きされました。また、一般参加者により両会場合わせて約5千本の苗木が植栽されました。

続いて、歌手でかながわ環境大使の白井貴子さんが大会テーマソング「森へ行こう！」を歌ったほか、緑の大切さを次代に引き継ごうとの意思を込めた歌やダンスなど各種アトラクションが披露され、終わりに50年後へのメッセージを込めたタイムカプセルが埋められ、次回開催県の和歌山県知事に大会シンボルを引き継いで一連の式典を終りました。



■公募事業を募集しています

平成22年度の助成事業・交付金事業

事業区分	事業内容	助成対象者	助成額
緑の募金事業	森林づくりの促進	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部等	5万円以上50万円以内
	ボランティア活動の支援	森林ボランティア団体	当該年度の予算の範囲内
	地域緑化の推進	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部等	5万円以上20万円以内
	みどりの少年団活動推進	みどりの少年団	5万円以上10万円以内
	学校林等利活用促進	学校、学校教育を支援する団体等	5万円以上20万円以内
	国際緑化等の協力	市町村、各種団体等	20万円以内
	学校緑化推進事業	学校、学校教育を支援する団体等	40万円以内（委託料は助成対象事業費の50%以内とする。）
森林基金事業	交付金事業（家庭募金等の65%を限度に還元）	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部等	市町村の決定額の範囲内
	青少年・民間活動グループ育成	市町村、民間団体、緑化推進委員会支部等	5万円・10万円・15万円・20万円の定額

平成23年用国土緑化運動・育樹運動の標語を募集しています

国土緑化運動の一環として、植樹及び森林・樹木の保護・育成の助長並びに一般国民の緑化思想の高揚を図るため、緑化に関するポスター等に使用する標語を募集しています。

標語の内容：簡潔で語調がよく、国土緑化の意を表し、植樹及び森林・樹木の保護・育成又は環境緑化意欲の高揚を強調したものであり、創作に限る。

応募方法：ハガキに住所、氏名、職業（学校）、標語を記載して応募する。

締め切り：平成22年9月30日（木）

その他：入賞作品の著作権は、社団法人国土緑化推進機構に帰属する。

国土緑化運動及び植樹運動ポスターに使用する作品については、必要に応じて一部修正を加えることがある。

応募先：社団法人鳥取県緑化推進委員会

■事務局より

会員募集のお願い

社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展及び国際緑化に寄与することを目的として設立された団体です。

本委員会の組織運営は、正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口 1万円

お問い合わせ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220（鳥取県農林水産部森林・林業総室内）

（社）鳥取県緑化推進委員会 電話：0857-26-7416 FAX：0857-26-7308

URL：http://www.tottori-green.or.jp